

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

1 一括質問一括答弁方式

②一問一答方式

質問件名 体と心を守るために包括的性教育を進めよう

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

これまで、家庭でも学校でも性の問題を語り合うことがタブー化され性教育の実践も阻まれてきました。一方では、インターネットで過剰な情報が氾濫し、こどもの頃から意図せずに性描写のある動画に触れてしまう危険や誤った性知識により、性被害や望まない妊娠に至ってしまうという事実もあります。実際に出産数の減少に対し、厚生労働省の2024年度衛生行政報告例の概況では、人工妊娠中絶は増えており、20歳未満の中絶も前年度より増加していると公表されています。また教師による盗撮や子どもへの性犯罪も相次いでおり、これまで以上に人権の視点での包括的性教育が必要と考えます。東京都教育委員会は「性教育の手引き」を作成し、保護者の了解を得れば学習指導要領を超えた内容に触れることもできるようになっており、産婦人科医を派遣した「性交」や「妊娠の過程」、「性感染症」を扱う授業の実施状況調査の保護者のアンケートでも反対の意見は見られませんでした。科学的根拠に基づいた性と性に関する知識、人権意識を学ぶことができる包括的性教育の授業を小平市でのスタンダードにしていくことを期待し以下質問します。

1. 生命の安全教育は、性暴力の被害及び加害の防止に焦点を当てていますが、文部科学省は、これを性教育とは位置付けていません。具体的な性の知識は扱われず、時間数も内容も現場にゆだねられています。包括的性教育の観点に照らした実効性の担保のための市独自の対策を講じるべきと考えますが見解は。
2. 性暴力の被害者にも加害者にもならないためにもデートDVについて学ぶことは重要と考えています。実践されている学校もありますが、中学校の授業で必ず扱うことについての見解を伺います。
3. 情報リテラシーについて学ぶなかで、性に関する被害や加害について触れていますか。
4. 性や体の悩みについて身近な場所で安心して相談できることが必要です。相談につなぐため行っていることはありますか。
5. 2022年4月に「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」が施行されていますが、全国で教師による性犯罪が相次いでいます。教職員に向けた研修の実施状況についてお示し下さい。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2025年 11月 13日 小平市議会議長 殿

小平市議会議員 氏名 柴尾ひろみ

受付番号【 】

26	25	24	23